

ごあいさつ



平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、令和元年6月12日開催の理事会におきまして理事長に選任され就任いたしました。引続き、お客さまや地域との接点・リレーションを大切に、信用金庫らしさを深化させていくことで、地域社会の繁栄に貢献していく所存でございます。皆さまには、今後とも倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ここに第94期（平成30年度）の業務の状況を取りまとめましたので、ご高覧いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度は、国内経済は豪雨や台風、地震など相次ぐ自然災害の影響により7～9月期の実質GDPがマイナス成長となるなど、一時停滞を余儀なくされましたが、年後半からは製造業の生産回復や個人消費・インバウンドの持ち直しを受け、総じて緩やかな回復基調を維持した年でした。

呉市を中心とした当地域は、昨年7月に発生した西日本豪雨により、多くの方が被災された影響を受け、製造業や小売、サービス業を中心に一時は売上が大きく減少しましたが、インフラ等の早期復旧に伴い、個人消費の改善や企業業績の持ち直しにより、現在では概ね災害前の水準に回復していると感じています。

また、好調な公共事業や民間の設備投資を背景に、業績が好調に推移する企業も見受けられる一方、原材料の高止まりや人手不足等から収益を圧迫し、回復基調を実感できない企業も見られるなど、地域の課題解決は「道半ば」といった状況です。

こうした中、中期経営計画「“くれしん”の革新『リレーションアップ バンキング』」の初年度にあたる平成30年度は、重点施策に「お客さまとの接点の強化」、「経営管理態勢の強化」、「人材育成・人材活用の充実化」の3点を掲げ、お客さまとの接点やリレーションを大切にすることを活動テーマとして取り組んでまいりました。

企業のお客さまには、外部機関との連携による創業・起業の支援やビジネスマッチングを通じたご支援のほか、知的資産や技術・経営力を適切に評価し、お客さまの状況に応じた課題解決型の提案活動を進めてまいりました。

個人のお客さまには、インターネットを通じた口座開設サービスの機能拡充や、Web完結の融資商品を増やしローンセンターの機能強化を図るなど、利便性向上に努めてまいりました。

その結果、平成30年度の業績は、貸出金は6期連続で増加し4,054億円、預金積金残高は2期連続で増加し7,112億円となり、当期純利益を13億円計上することができました。

また、西日本豪雨災害に際しては、グループ補助金の申請サポートや専用相談窓口の設置、災害復旧関連融資の取扱い、職員によるボランティア活動等を通じて、地域の早期復旧・復興の支援に努めてまいりました。このほか、地域行事への参加、地域の文化・芸術活動の振興および地元スポーツチームの支援を通じて地域との絆を深めるなど、幅広い社会貢献活動にも取り組んでまいりました。

これからも「お客さまや地域との接点・リレーション」を大切に、地域社会の発展・繁栄に貢献できるよう役職員一丸となって取り組んでまいりますので、末永く変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

理事長

向井淳滋